

労働組合に入ろうよ!

国労千葉地本運輸区統合分会

SOGA 班新聞

少子化対策待ったなし!

毎年、敬老の日を前後して、メディアによる高齢者に関する特集が組まれています。左上別枠は某新聞からの主だったデータをまとめてみました。「人生100年時代」を象徴するめでたいデータではありますが、我が国の場合、「高齢化」と共に考えなければならぬのが「少子化問題」であります。今回は主に後者に関する記事をまとめてみたいと思います。

少子化、何が問題か?

世の中は、全ての国民が幸せに生きる権利と共に、社会を支える役割を持って生きています。が、その中でも経済的な

事柄に関しては、生産(労働)年齢人口に頼らざるを得ません。私たち世代もいずれはこれら若い世代に厄介になる

が、ご承知の通り、現在が高齢層と若年層の割合が反比例で進んでおり、このままでは生産年齢だけで社会財政を支えることは難しくな

我が国の高齢者データ (9/15 現在)
100歳以上・・・92,139人
(前年比: +1,613人)
(内、女81,589人、男10,550人)
(現)国内最高齢: 女116歳(大阪)
男111歳(館山)
1963年(統計開始) 153人
1998年: 初めて1万人を超える
2012年: 初めて5万人を超える

響が出るのは必至です。後の医療、福祉、介護、年金等の社会保障にも影響が出るのは必至です。

日本の総人口 (2022年) 1億2250万人
年少人口 (0~14歳) : 1478万人
生産年齢人口 (15~64歳) : 7458万人
高齢者人口 (65歳以上) : 3558万人

少子化、原因は?

多様な生き方が推奨され、結婚や出産に対しての価値観も変わってきた等、色んな要因がありますが、やはり圧倒的に多いのが「将来に対する不安」すばり経済的な不安や、生活環境の不安だろ

非正規雇用制度の完全撤廃を!

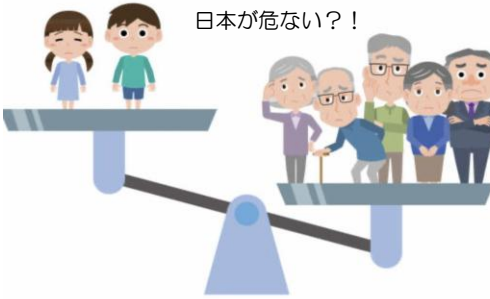
小泉政権によって完成された

少子化、対策は?

政府は「異次元の少子化対策」を訴えましたが財源の問題等々、現実離れし過ぎて本気度が感じられません。関連給付金ばかりでは、その場しのぎで、抜本的な解決にならないのは毎度の繰返しであります。

日本が危ない?!

様々な改善(賃金含む労働条件、福利厚生、保障、社会環境等)が始まっていくように思います。現在、この国にある悪政に歯止めをかけられるのは、国民全員の良心と、労働組合の頑張りにも他なりません。未加入者の皆さんも是非、労働組合に結集しましょう。また、有権者全員がそういう思いで確実に選挙に向くことも大切です。



☆ 冒頭に書いた「誰もが幸せに生きる権利」、先進国と言われているこの国は実際どうなのか?!